

1996~97

オーソライズされたF/S進行構造図

国際資本を受けての、国内事業参画者の開拓。

国際資本を受けての「当J/V、投資参画事業」へのメンバーとして、  
・港湾開発・事業オペレーションに臨む事業参画者を募る。  
・後背地への金融・物流・情報・商業拠点化に臨む事業参画者を募る。

異業種企業への参画打診と、該当企業における事業メリットの検討化。

打診対象：流通、サービス、メーカー、海運業、ディベロッパー 他

↑  
↓  
事業参画への打診と  
個々の企業における事業化への可能性検討

国益としての——  
・港湾改革“大交流時代を支える港湾”への  
スタディと実践  
・規制緩和検討  
・対日投資インセンティブ検討

省庁 関連機関へのコンセンサス形成

経済企画庁  
吉川 経済企画審議官  
運輸省 港湾局  
木本 技術審議官→柘原局長  
他 関係省庁、機関

(財)港湾空間高度化センター 御巫理事長

(財)国際開発センター 河合三良 会長

アジア・太平洋フォーラム 内田健三理事長

自治体 関連機関へのコンセンサス形成

神戸市  
笹山市長  
江口港湾局長

兵庫県 溜水副知事

(財)産業復興推進機構 大角副理事長

地域利益誘導のための——  
・県・市からの港湾改革から、  
雇用拡大と経済復興  
・県・市からの規制緩和、優遇の検討と  
国への提案  
・対日投資獲得のためのインセンティブの検討と  
国への提案

香港、英国国際資産の、神戸港と後背地への移植と事業形成を図りたい。

プロジェクト・プロデューサー： SUPER STUDIO INC. 代表 鈴木浩二

・対日投資導入による地域・経済復興提案  
(社会資本研究会 理事長 藤田一、事務局 鈴木浩二、協力員 吉川、藤井治夫、小長啓一、  
牧野、飯田経夫 各氏 提案) ▽  
・シンガポール、香港において、「対日投資コンソーシアム」づくり  
▽

案件： 香港資産(英国系)の中国返還に伴う、国際資産の  
神戸港とその後背地への導入計画

作業：  
地元ニーズ検討の後の、市・県・財界へのオーソライズと、  
調整官庁である経済企画庁による関連省庁への調整。  
監督官庁である運輸省と、経企、自治体との連携・オーソライズ。  
開銀を含む柔軟なチームによるF/S作業と、対日投資主との実施

協力者：  
水野健、小長啓一、河合三良、石原信雄、内田健三、御巫謙泰(運輸)、椎名兼夫、長川伸次、藤井治夫、各氏  
吉川 経済企画審議官(経企庁)、木本技術審議官(運輸)、藤井事務次官(建設) 他  
Mah Bow Tan 大臣(シンガポール運輸通信省)、Philip Yeo 長官(シンガポール経済開発庁)、  
Goh Chin Tong 局長(シンガポール環境省) 他

長江実業、Hutchison 社の窓口としての  
プロデュース業務

投資依頼に応じ、F/S準備に入る。

港湾：  
■世界No. 1の港湾事業シェア、オペレーションを持つ  
長江実業/Hutchison社(英国系)  
シェア 上海90%、深圳100%、香港60%、Felixtowe100%、他  
副会長 G.C.Magnus、Hutchison Port社長 J.E.Meredith

■世界No. 2の港湾事業シェア、オペレーションを持つ  
PSA(シンガポール港湾局)  
Mah Bow Tan 大臣(シンガポール運輸通信省)、PSA Goon Kok Loon 副会長

後背地：  
■国際的な金融、情報センターとして成長を遂げた  
総合 SUNTEC CITY Singapore  
Convention & Exhibition, Investment, Development,  
SUNTEC Foods & Leisure, .

■シンガポール政府系財閥  
STIC/SSL/KEPPEL GROUP/Hong Leong GROUP /  
Sembawang Co.Ltd.

チーム作業 (海外共同F/S含む)

日本開発銀行

プロジェクト・プロデューサーへの支援形成と、  
地元自治体へのオフィシャルなつながり。  
事業成立化のためのF/Sの完成と、実務(投融資)の遂行。

・政府への政策提案  
・政府政策に則った事業融資